

機器側は無給電動作も可能な シリアル通信無線化ソリューションです



無線シリアル通信ユニット CPI-WS001

CPI-WS001はRS232もしくはUSB(仮想COMポート)の有線シリアル通信を無線通信に置き換えるユニットです。機器側(スレーブ)モジュールにおいて、RS232シリアル通信ラインを無線に置き換えて使用する場合、接続するターゲット機器のDTR及びRTSの電気信号を蓄電することによって、外部からの給電が不要となります。ユニットはマスターモジュール(親機)とスレーブモジュール(子機)で構成され、マスターはPCとRS232またはUSB仮想COMポートにて接続します。スレーブはPCまたは機器とRS232またはUSB仮想COMポートにて接続して使用します。

■特長

- RS232で有線接続している装置の無線化。
- 有線USBにて仮想COMポートで通信している装置の無線化。
- RS232とUSB仮想ポート間での無線通信。
- 通信条件により、スレーブモジュールは無給電動作可能。
- 市販のモバイルバッテリーの接続による給電動作。
- 電波法認証済みの無線モジュール。

■仕様

		CPI-WS001/M(マスターモジュール)	CPI-WS001/S(スレーブモジュール)
無線部	規格	IEEE802.15.4 準拠	
	周波数帯域	2.4GHz	
	送信出力	2mW以下	
	到達距離	最大30m(屋内)	
USB部	バス仕様	USB Revision 2.0準拠 FULL SPEED(12Mbps)対応	
	電源タイプ	バスパワー	
	VBUS消費電流	5V/100mA(Max)	
	添付ケーブル仕様	シリーズA-USB miniB 長さ0.9m	
RS232部	転送速度(bps)	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200	
RS232部 特殊機能	RI 5V	—	外部電源仕様 5V±5% 100mA
共通部	動作温度範囲	5~50℃	
	保存温度範囲	-20~70℃	
	外形寸法	69(W)×28(H)×115(D) (単位mm 突起部含まず)	
	重量	約120g	約130g

詳しい情報は — <http://www.cpi-tec.jp/cpi-ws001>